

特別企画

★自転車活用プログラムを実施しているクラブ★

NPO法人^{たき お ひやく けつ}滝尾百穴クラブ 大分県大分市

国土交通省が令和3(2021)年5月に「第2次自転車活用推進計画」を策定しました。

第2次自転車活用推進計画では目標の1つとして、日常生活における自転車利用も含めた生涯スポーツの普及奨励により、心身の健全な発達や、生きがいのある豊かな生活の実現、国民の健康寿命の延伸等を目指すことを掲げています。

そこで今回は、自転車種目に取り組むクラブについて紹介します。

【国土交通省HP 自転車活用推進計画】

https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/jitensha_katsuyo/

1

クラブ概要

会員数230名、スポーツ教室9種目、文化教室2種目を実施

NPO法人滝尾百穴クラブは、地域住民の健康増進と青少年の健全育成、住民相互のコミュニケーションの活性化を目的として、平成26(2014)年10月27日に設立されました。

現在、事務局の体制は田島寛信理事長を含めた計5名の役員と事務局職員2名で組織しており、そのほかに指導者15名、助手15名が所属しています。

会員数は現在230名で、スポーツ教室9種目と文化教室2種目を実施しています。特にバドミントン、太極拳、陸上競技、絵画は会員数が多く、クラブの主要種目になっています。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、自前の施設と屋外施設利用のおかげで会員数の大きな減少は免れました。特に3年前からファミリーポタリング(家族で楽しむお散歩サイクリング)をイベントに採用しました。現在ではこのファミリーポタリングが滝尾百穴クラブの特色の一つになっています。

2 コロナ禍で採用した自転車活用プログラム

安全なサイクリングコースで、家族一緒に楽しむスポーツ

コロナ禍で室内競技の会員増加が望めず、かつ学校や公共の屋内施設も使用できないことが多くなりました。そこで、屋内施設利用の拡大をあきらめ、屋外スポーツでの活動機会を増やすことを考えました。思いついたのが自転車を活用したプログラムです。

大分県教育委員会では令和3(2021)年度より、総合型地域スポーツクラブを対象に、「シンボリックプログラム創出事業」の募集をスタートしました。総合型クラブが市町村と連携し、地域の特性や資源を生かした特徴的なスポーツプログラムを創出することを目的とした事業です。自転車を活用したプログラムを検討していた私たちのクラブでは、この事業に応募し、補助金の支給が決まりました。

大分市は「バイシクルフレンドリータウン～自転車が似合うまち～の創造」を基本方針に、自転車レーンや自転車誘導サイン、駐輪環境づくり、シェアサイクルポートなど安全で快適な自転車環境づくりに力を入れています。自転車を活用したプログラムをスタートさせるのに、十分な条件がそろっていました。

ただ、一般的に知られている自転車活用プログラムは、ただ早く、長く走るのが目的に見えます。それでは当クラブの目的にそぐわないと感じました。安全なサイクリングコースで、家族一緒に楽しむスポーツとしてのイベントを実現したいと考え、イベントの主な内容を以下のように設定しました。

〈事業名〉

「ファミリーポタリング」

〈目的〉

- ① 自転車に乗って健康になりましょう。
- ② 家族のふれあいを増やしましょう。
- ③ 大分県内の自然と観光を楽しみましょう。
- ④ 健康になり災害のボランティア活動ができる人材を育てましょう。

〈参加人数〉

イベント1回につき40人前後

〈参加スタッフ〉

事務局職員2人、自転車補助スタッフ7人前後

〈その他〉

イベント開催地までの移動費、自転車レンタル料、保険料等は、基本的に補助金で賄います。足りない部分に関してはクラブが負担しています(現地での飲食代金は個人負担)。

イベントを実施する前に、参加者を対象に自転車についての安全説明会を実施しました。説明会ではサイクリングの基本的な知識からヘルメット着用の重要性、保険についてなどをわかりやすく解説しました。また、スタッフによる事前の現地調査を必ず実施し、ミーティングを十分に行いました。計画と実行にずれがないかを確認し、トラブルを最小限に抑える努力はとても重要です。



第1回目のファミリーポタリングin耶馬溪

3

大自然の中を家族そろって 自転車で走り抜ける爽快感

県内の観光スポットと連携して地域振興に貢献

ファミリーポタリングのイベントは令和3年のスタート以来、年に1～2回実施しています。参加者に好評だったイベントを2つ紹介します。

メイプル^{やば}耶馬^{やまぐに}サイクリングロード(中津市)

メイプル耶馬サイクリングロードは耶馬溪(やばけい)鉄道廃線後を利用したサイクリングコース(全長約36km)で、本耶馬溪から山国までの約22kmが自転車専用道路になっています。参加者は貸し切りのバスに乗り、サイクリングコースの中間地点にある耶馬溪サイクリングターミナルまで移動します。このターミナルには約300台のレンタサイクル(大人用、子ども用、二人乗りダンドム車、電動アシストなど)が用意され、家族でレンタルして出発します。特に紅葉の季節は、御霊(みたま)もみじを見ながら自転車を走らせる爽快感は格別です。



耶馬溪の紅葉の中、快適なサイクリングコース

さえきおおにゆうしま

佐伯大入島一周コース(佐伯市)

豊後水道に面した佐伯湾に浮かぶ大入島へ渡り、島内を一周(約17km)するコースです。参加者は貸し切りバスでJR佐伯駅まで行き、そこで予約したレンタサイクルを受け取ります。佐伯市観光協会に協力を得て、レンタサイクルの台数を確保しました。佐伯港からレンタサイクルと一緒にフェリーに乗り込み、大入島に渡ります。海の景色を眺めながら海岸線を走るサイクリングは、潮風に心を洗われるような気持ちのよさです。



大入島へはフェリーで渡ります(片道約7分)



自転車をフェリーに乗せて大入島へいざ出発！



佐伯市の歴史散策コースも好評でした
さあ！ 出かけよう！



佐伯市内を流れる番匠川には野鳥がたくさんいます

平成6年度は国東半島の自然を満喫するファミリーポタリングを計画したいと考えています。将来的にはイベントだけでなくサークルとしても定着させる予定です。

4 ファミリーポタリングの効果と直面する課題

ノウハウの蓄積と費用負担

滝尾百穴クラブではファミリーポタリングのイベントを実施することにより、多くの効果を上げるとともに、今後の課題も見つけることができました。

ファミリーポタリングの効果

- ①ファミリーポタリングのイベントを継続的に実施するための人材とノウハウの蓄積ができました。
- ②地元ケーブルテレビ「大分ケーブルテレコム」の番組『友チャリ』で取り上げられたことにより、事務局に多数の問い合わせが寄せられました。
- ③イベントを実施することにより、クラブ内の横の繋がりや会員とのふれあいが増えました。
- ④県内の市町村と連携を図り、自然や観光地を巡ることにより、県内の地域振興に貢献しました。

ファミリーポタリングの課題

- ①日ごろからサイクリングをする素地がない参加者が多いので、サイクリング人口をもっと増やす努力が必要です。
- ②現地までの移動手段としてバスを借り上げて行くため、クラブの負担が大きくなります。
- ③観光地やサイクリングターミナルは利用する自転車の種類や台数が足りなくなり、持参するケースが時々起こります。特に小学生の自転車を確保するのにひと苦労の状況です。
- ④市町村により自転車のレンタル料に差があり、当クラブの負担が多くなる場合もあります。

NPO法人滝尾百穴クラブ理事兼事務局長 田島 薫

クラブプロフィール

設立年月日 平成26(2014)年10月22日(2014年10月22日法人登記)

所在地 大分県大分市

運営 会員数:230名(令和6年2月現在)、予算規模:513万円(令和5年度)

特徴

- ①すべての教室を地元の指導者に依頼し、立ち上げました。
- ②当初より会費を有料として年会費と月謝制度としました。
- ③会費を年4回徴収とし、子どもの会費は銀行振込としました。

連絡先 〒870-0954 住所:大分市下郡中央二丁目8番47号
TEL:097-578-6685 FAX:097-578-6683
HP:<https://npo-takio.jimdofree.com/>
E-mail:takispo100@gmail.com